



## 再審査で新たな散策コース誕生！

10月に行われたジオパーク再認定審査では、ジオパークガイドやふれあいガイドがかかわって作成した両津港周辺のモデルコースを審査員と一緒に歩きました。

この両津コースは、佐渡ジオパークの拠点である佐渡島開発総合センターを起点に、両津港周辺を散策するコースで、両津が「砂州」の上に作られた町であることを実感することが出来ます。砂州は水の力によって砂が動き、湾などを閉じるように形成されます。代表的なものに天橋立あまのはしだて(京都府)などがあります。

現在は家や商店が並び、地下の砂を見ることはできませんが、ジオガイドと一緒に歩くことで、ちよつとした道の起伏などに注目し、砂が動いて砂州が形成され、その上に人々が暮らしてきたことを実感することが出来ます。

実際にコースを歩いた審査員からは「審査を忘れてしまうほど楽しかった。加茂湖や町並みを展望しながらのガイドがとても良かった」とコメントをいただきました。

地層や岩石を見ない両津コース、ぜひ歩いてみてはいかがでしょう。

### ⑤ 教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室 ☎27-2162



佐渡汽船ターミナルの展望室からの風景

### 〈両津コースの概要〉

① 佐渡汽船ターミナル8階展望室

佐渡の大地形を見よう！

② 両津若宮通り

砂が動いてできた大地を実際に歩いてみよう！

③ 佐渡汽船ターミナル2階ジオパーク情報コーナー

佐渡のなりたちと加茂湖、両津のまちなみの歴史をおさらい。

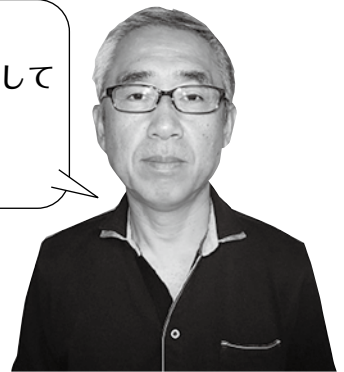
## 『日本有数の観光地にしたい』

佐渡市は新潟県で最高の観光地と考えています。豊かな自然と観光には欠かせない「食」を備えた地域は世界に向けても引けを取らない財産です。人口減少や観光客の減少など問題点はありますが、県外や市外に向けての継続型営業と着地型観光の活動が重要になると思っています。

また、私たちの受け入れ態勢を充実し「おもてなし」の心を持って対応できるように努めて参りたいと思います。私のミッションは佐渡市を日本有数の観光地にすることです。

～地域の魅力をサポートします～  
**われら地域おこし協力隊**

10月から  
鷺崎集落担当として  
活動している、  
山田達也です



11月から豊岡集落担当として  
活動している、千田一城です



## 『ご縁を大切に、笑顔で楽しく』

皆さま初めまして。出身地は茨城県守谷市で、佐渡に来る前は北海道にて福祉のお仕事と自然栽培の畑の勉強をしていました。趣味は、畑と伝統芸能と発酵食品作りです。豊岡では豊かな竹を活かした炭作りのほか、耕作放棄地の活用、伝統芸能・工芸の体験スペース作りにチャレンジしていこうと思います。いただきましたご縁を大切に、皆さまと笑顔で楽しく活動していけましたら幸いです。どうぞよろしくお願ひします。

⑥ 地域振興課 地域振興係 ☎63-4152